

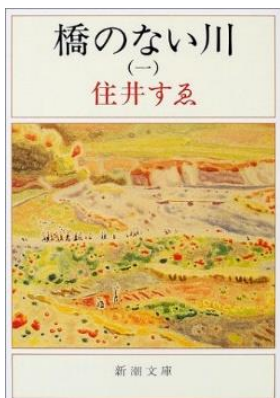


# 図書館だより

## 司書さんが来てくれることになりました！

ずっと司書さんが居なかった本校の図書館ですが、今年度、6月から司書さんが週二回来てくださることになりました！

これから、火曜日と木曜日は、放課後も開館します！



### 【司書の伊藤先生のプロフィール紹介】

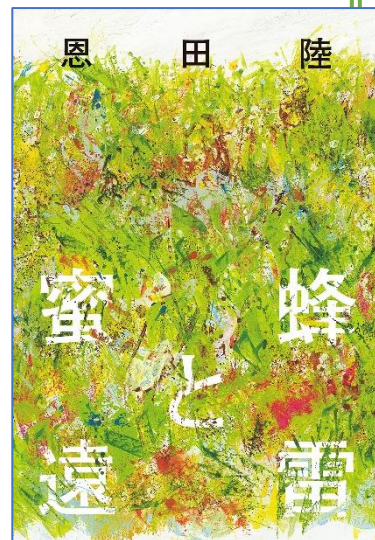
- フルネーム：伊藤 一枝(いとう かずえ)
- 誕生日：7月14日      ○血液型：B型
- 好きな食べ物：なんでも好き      ○好きな飲み物：日本酒
- 趣味：バイオリン(利根商のオーケストラ部出身！)
- 好きな本：『橋のない川』 → 部落差別を題材にした小説です。
- 一言：『図書室に遊びに来てください！』

### ☆細田教頭のオススメ本 紹介☆

高校生の皆さんにお薦めの一冊を紹介するという依頼を受けました。たった一冊！！を選ぶのはかなり難しいことですが、張り切ってまいります。

努力家で、思いやりがあって、明るくて、穏やかで、麗しく、欲は無く、決して曇からず何時も静かに笑っていて、才能に溢れ公明正大で友達がたくさんいて、清廉潔白、そういう者に私はなりたいと常々思っています。が、なかなかどうしてそう簡単にはいきません。利己心や誘惑や人間関係の煩わしさ、臆病な自尊心、嫉妬心、怒りなどに揺さぶられることも多々あります。果たして、私になりたいと思うような人間はこの世に存在するのか？と懐疑な見方すらしてしまいます。

さて、皆さんにお薦めする一冊は、恩田陸「蜜蜂と遠雷」です。第156回直木三十五賞と第14回本屋大賞をダブル受賞しています。「ハチミツとクローバー」と被って「蜂蜜と遠雷」と言い間違いしがちですので気をつけてください。映画化もされています。国際ピアノコンクールに挑む4人のピアニストを中心とした物語で、音楽の神様に愛されたギフテッドが登場します。読み終わると音楽と多幸感で満たされ、自分の中のどす黒く、ろくでもない部分が浄化される気がします。正々堂々と正しく生きて美しい世界に受け入れられたいという思いに至ります。是非一読してください。真逆の読後感を味わえる作品としては凄かなえ「告白」、太宰治「トカトントン」などありますが、その話はまた後ほど。



僕は読書が大好きだ。もっと多くの人に本を読むようアドバイスしたい。  
 本の中には、まったく新しい世界が広がっているんだよ。  
 旅行に行く余裕がなくても、本を読めば心の中で旅することができる。  
 本の世界では、何でも見たいものをみて、どこでも行きたいところに行ける。

——マイケル・ジャクソン——

